



総合商社に勤務し現在は上場会社の経営をしているかたわら、NPOの代表、PTA会長(元)、少年野球コーチ、などを担っている。

部下(子ども)の力を信じ「任せる」こと、顧客(子ども)の目線に立つこと、上司(親・教師・指導者)自ら楽しむことという3点は、会社経営・ビジネスと、子育て・子ども教育に共通している基本原則だ、という考えを持っている。

Life(子育てや家事)、Work(仕事)、Social(地域活動や社会貢献)という3つの視点を融合させた執筆や講演実績が多数あり、特に依頼の多いテーマは以下の通り。

- ・ワークライフバランス： Life、Work、Socialの3つとも楽しむためのヒケツと、互いの相乗効果など。
- ・イクボス、管理職： 部下の私生活を応援し、自らもLifeを楽しみ、なおかつ業績責任を果たす上司。
- ・イクメン、イクメン： パパが、子育て、地域活動、PTA活動などをやる意義と楽しさなど。
- ・子ども教育： 我が子のチカラを信じよう(大人向け)、自分のチカラを信じよう(子ども向け)

## 経歴

- 【Life】 ・1964年 神奈川県生まれ、1987年 慶応義塾大学(理工学部)卒  
・妻もフルタイム勤務のため、家事や子育てを夫婦でシェア。(例: 息子の弁当作りを毎朝)
- 【Work】 ・1987年 三井物産(株)入社、現在は系列上場会社の社長
- 【Social】 ・地域 小学校PTA会長(元)、中学校PTA会長(元)、おやじの会、少年野球コーチ  
・NPO NPO法人コチカラ・ニッポン代表、NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事  
・公職 文部科学省「放課後等の教育支援の在り方」委員

## 実績(講演・執筆・メディア)

子育てや家事などの経験を活かした「ライフの視点」  
商社勤務や会社経営の経験を活かした「ビジネスの視点」  
PTAやNPO活動などの経験を活かした「ソーシャルの視点」  
という“3つの視点”を融合させた講演や執筆。

Life  
(子育てや家庭)

Work  
(仕事)

Social  
(地域活動や  
社会貢献)

最近のメディア実績は、NHK「クローズアップ現代」で特集されたことをはじめ、AERA、日経新聞、読売新聞、TBSなど

- 大人向け 「パパ業は、世界で一番ステキな仕事」  
「MBAとるよりPTA会長になろう ～ロジックより実践～」  
「自分株式会社は、LifeとWorkとSocialの共同事業体」
- 企業向け 「イクボスのすすめ ～職場革命～」(管理職向け)  
「会議は8分の1に減らせる ～新しい働き方～」
- 保護者向け 「我が子のチカラを信じよう」  
「我が子が、自立した社会人になるために」
- 子ども向け 「もうすぐ大人になる君たちへ」(高校生・大学生)  
「自分のチカラを信じよう」(小中高大)  
「ワクワクが全てのはじまり」(小中高大)

### NPO法人コチカラ・ニッポン (<http://kodikara.org/>)

企業、地域、商店(街)などが活性化し成長する。親や家庭が笑顔で満たされる。そのためには「子どものチカラを大人が借りる」。一方、企業、地域、商店(街)、家庭などで「大人に役立つことを通じ、子どもは伸びていく」。

この「子どもと大人の双方向性」により、「実践を伴った子ども教育」と、「企業や地域などの発展」という2つを同時に達成することが、当法人の活動目的。

\*子どものチカラ(コチカラ)とは；斬新な創造力、既成にとられない発想力、好奇心、無邪気、素直さ、あり余るエネルギーなど

## 文章バージョン(約370字)

1964年神奈川県生まれ。慶応義塾高校、同大学(理工学部)を経て、三井物産(株)に入社、現在は系列上場会社の社長を担っている。

一方、地元の小・中学校ではPTA会長を担い、少年野球のコーチやおやじの会の代表なども務めていた。また、イクメンの先駆けであるNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事、「子どものチカラを大人が借り、その過程を通じて子どもが伸びる」をモットーにしたNPO法人コヂカラ・ニッポンの代表でもある。

子育てや家事の経験を活かした「ライフの視点」、商社勤務や会社社長の経験を活かした「ビジネスの視点」、PTA会長やNPO代表での経験を活かした「ソーシャルの視点」という、“3つの視点”を融合させた講演を全国各地で実施。

NHK「クローズアップ現代」、AERA、日経新聞、読売新聞をはじめ、多数のメディアで取り上げられている。

## 短文バージョン(約260字)

1987年、慶応大学を卒業し三井物産(株)に入社、現在は系列上場会社の社長。

地元の小・中学校のPTA会長、少年野球のコーチなども務めてきた。

また、イクメン関連のNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事、子ども教育関連のNPO法人コヂカラ・ニッポンの代表でもある。

子育てや家事の経験(ライフの視点)、商社勤務や会社社長の経験(ビジネスの視点)、PTA会長やNPO代表の経験(ソーシャルの視点)という3つを融合させた講演を各地で実施。また、NHK「クローズアップ現代」、AERA、日経新聞など多数のメディアに登場。

## 短文バージョン(約200字)

1987年、慶応大学卒、三井物産入社、現在は系列上場会社社長。

小中学校のPTA会長(元)、イクメンのNPO「ファザーリング・ジャパン」理事、子ども教育のNPO「コヂカラ・ニッポン」代表でもある。

子育てや家事(ライフの視点)、商社勤務や会社社長(ビジネスの視点)、PTAやNPO(ソーシャルの視点)という3つを融合させた講演を実施。NHKクローズアップ現代、AERA、日経など多数メディアに登場。

## 簡易バージョン(約180字)

1987年、慶応大卒、三井物産入社、現在は系列上場会社の社長。

地元の小中学校のPTA会長を担い、また現在はイクメンのNPO「ファザーリング・ジャパン」理事、子ども教育のNPO「コヂカラ・ニッポン」代表でもある。

子育てや家事(ライフの視点)、商社勤務や会社社長(ビジネスの視点)、PTA会長やNPO代表(ソーシャルの視点)という3つを融合させた講演を展開中。

## イクメン・イクボス用

イクメン時代、妻の仕事を辞めさせず、かつ家族一緒に住み続けるために、海外転勤を回避。また、妻と家事育児をシェアするために、週1、2回は定時帰宅。

その分、「成果で倍返し」をモットーに、仕事に集中し、短期間で資格を取り、誰からも非難されないよう心掛けてきた。

イクボスになってからは部下に、「たくさん休め、早く帰れ」というメッセージを出し続けている。

現在は、経営している会社で、育児やWLBの社内制度導入、業務効率化のための社内改革、社員の意識改革などを、経営の最重要事項として進めている。